

■部会便り

技術部会 自然環境WGの活動紹介

自然環境WGグループリーダー 矢後 賢次

富士電機システムズ株式会社

自然環境 WG では、風車建設前、建設中、建設後など設置にかかわる自然条件の諸問題に対してのテーマを選定し改善・処置方法の提案や方針のまとめを行い、会員に広く啓蒙活動を行っています。

昨年(18年度)は各会員が落雷、台風、バードストライク、環境アセスメント等をテーマに上げそれについて報告を行うという形式を取り活動しました。

第1回テーマ「雷強度と台風強度」

第2回テーマ「バードストライク」

第3回テーマ「漁業権」

第4回テーマ「数値シミュレーションを用いた最大風速推定の可能性」

第5回テーマ「疲労」

自然環境 WG では、セミナーも開催しており平成14年度は雷に関するセミナー、平成15年度は環境アセスメントおよびバードストライクに関するセミナーを開催し会員に対しての啓蒙活動を実施しています。

平成18年度の活動はテーマをGr員で選定した勉強会活動であった事は冒頭ご説明したとおりです。

平成19年度はテーマを絞り込んだ活動として外部報告および講習会が開催できるように工夫し、継続していきます。

テーマとしては風車建設計画時点で障害ともなっている景観問題を選定しこの考え方や対応の仕方などを検討していきます。

現在TV報道などで風車の見え方に対しての近隣住民の異論が報道され、計画変更等が余儀なくされている計画が数箇所あるとの報告を耳にします。

これを事前に解決する手段を微力ながらも良いと言う考えで、風車の見え方を事前に検討が出来るようにアドバイスの対応方法を紹介できれば自然環境WGの成果ではないかと考えています。

当年度の自然環境WGでは風車建設に係わる風車建設後の見え方を検討・考察するテーマとしてビジュアルインパクトの公演を開催したいと考えています。

その経過として風車の見え方の指向性を高める意味で、学識経験者等へ講演の依頼を行う事としています。

また既に設置されている経済産業省と環境省による風力発電施設と自然環境保全に関する研究会にも積極的に係わって行きたいと考えて行きたいと思います。

自然環境 WG 2007 年度活動計画

活動方針

「自然環境と風車の共存」

主要テーマ

「風車を与える景観とその影響」

施策

「風車設置前後の比較および風車設置後の景観対策(各県における景観条例対策調査含む)」

成果目標

「ビジュアルインパクトの公演および景観対策の報告書まとめ」

期待される効果

「設置計画への盛り込み」

スケジュール

「1月/回の月初めの週末と設定予定。」

平成19年度の参加メンバーは以下の6社となっています。

- 日本通運(株)
- IPPジャパン(株)
- E&Eソリューションズ(株)
- 安藤建設(株)
- 鹿島建設(株)
- 富士電機システムズ(株) (順不同)

